

大正の末から昭和の初めに
かけて造られたこの畳堤を、
貴方は「郷土の誇りだ」といつ
も言っていましたね。普段は
人々の暮らしに怖い印象を与
えずに、一旦洪水の心配があ
るや直ぐに、当時どこかの家
もあつた畳をはめ込んで堤防
のかさ上げをしたこの畳堤。
その、なんとも柔軟な発想と
実行力、みんなで力を合わせ
て街を守るといふ「郷土愛」の
象徴がこの畳堤だ、とよく言
っていましたね。

守る会の活動で思い出され
るのは日本最古の五ヶ瀬川の



畳堤と同じ構造の畳堤がある
岐阜県の長良川と兵庫県の揖
保川を会員六名で訪ねた探索
旅行です。木原会長の「よし、
行きましょう！」のひと言で
まとまりましたね。(写真左上、
長良川)

延岡の畳堤とのつながりは
分かりませんでした。延岡
のが一番いいね」と盛り上が
り、同じ水害の歴史を持つ遠
くの人々との繋がりを実感し
ました。

それから、何と言っても、木
原会長の真骨頂だったのが、
令和元年十一月から十二月ま
で三年にわたり開催した「水
辺の青空美術館」です。初め、
会長から「九十センチ×百八
十センチの板に、郷土延岡を
テーマに思い思いの絵を描い
てもらいそれを、畳堤に差し
込み固定してズラリと並べる。
この時期は雨も降らないし、
野外で散歩がてらに樂しめて
何より畳堤を知ってもらえる」
という話を聴いて、「ええ、そ
んなことできるかいな？」 賛



同じ協力してくれる市民や
学校があるかいな？」と、私も
他の役員も実はいぶかしく思
っていました。

しかし、貴方はもう、その水
辺の美術館が見えているかの
ように、許認可と協力を求め
て国交省延岡河川国道事務所
をはじめ、県や市の関係先を
次々と軽やかにまわり、どん
どん進めていきましたね。コ
ンパネの運搬や畳堤への取り
付け協力を市内土木建設会社
へ依頼し、OKを取り付けた
のも会長でした。公の承認が
下りてからは、市内の保育園・
幼稚園・小中高・支援学校など

をまわり、その趣旨説明と絵
画作成の依頼を続け、そして
初年度に七十九枚、二年目に
三十一枚、三年目に二十一枚
で五ヶ瀬川南側の畳堤にある
畳堤百三十一基にズラリと、
見事に郷土の風物詩が描かれ
ました。(写真上)

日本中、世界中で、延岡だけ
にしかできない、畳堤を活用
した「水辺の青空美術館」です。
木原会長がいなかったら決
てできなかった、なんとも素
敵な美術館です。

貴方の親友の一人、久澄サ
ツキさんはこう言っています。
「多種多様な社会貢献団体で、
数多くの役職を務めながらも
なお、自分の心の琴線に触れ
たものは、とことん追求する
固い意志。一度決めたらテコ
でも動かさず邁進する実行力。
それが会長・木原万里子さん
なのです。」

木原さん、貴方は社会福祉
士・行政書士・保護司・家事調
停委員として多くの市民を助

け、「生と死を考える会」「延岡
市ボランティア協会」「県北の
地域医療を守る会」「男女共同
参画会議21」「五ヶ瀬川の畳
堤を守る会」など、本当に多く
の社会貢献活動の団体をリ
ドしてきましたね。
お別れが惜しく、長くなっ
てすみません。

康裕さん、健吾さん あな
た方のお母さんは、人を愛し、
人に愛され、郷土ふるさとに
広く深く貢献した、素晴らし
い人生を生きたお母さんでし
た。そして、最後に、身をもつ
て私たちに「生と死を考える」
ことの意義を示してくれた慈
愛の人でした。

木原万里子さん、ありがと
う。木原会長、お疲れ様でした。
貴方と出逢った人はみな、生
涯貴方を忘れません。さよう
なら。

令和五年四月四日
五ヶ瀬川の畳堤を守る会副会長

上田 耕市

平成30年、橋の日での豊堤清掃



平成22年、九州「川」のワークショップで、子どもたちにもこやかに説明



女性リーダーとしても中心的存在だった木原会長。写真は平成19年、日本女性会議でのスナップ。笑顔が美しいですね！



思い出の写真集

平成25年、テレビ出演



平成29年、防災フェスタ



平成30年、のぼるくんと



平成28年、豊堤ツアー

のぼるくんと男女共同参画会議で、橋さん、会長、木原会長と一緒させて頂いた時の事を思い出します。私には大仕事だったので判らぬ事は丁寧に教えて下さり、とても助かりました。豊堤を守る会でも一生懸命取り組んでおられましたが残念の一言です。去年(令和4年)の8月9月頃か、岡富中学校の生徒さんが木原会長に豊堤を守る会についてインタビューをしているのをテレビで観るのが良かったです。木原会長と一緒に仕事に感謝です。

豊堤を守る会会員、甲斐美恵子さんからのメッセージ

林田広行さんが逝去

木原会長が情熱を傾けて実現させたものの一つに、豊堤に豊を差し込む人物の石像制作がありました。平成二十八年十一月二十八日に完成式典。これは、当時、延岡市教委キャリア教育アドバイザーだった富山隆志さんが橋渡しとなり、延岡工業高校と同校の卒業生・林田広行さん（林田石材社長、延岡市平原町）が全面協力してくださったからこそ成しえたことでした。

その林田さんは、令和四年五月に病気で亡くなりました。五十八歳の若さでした。心からお悔やみ申し上げます。

石像制作は本当に大変だったようで、豊の部分をはめ込み、設置が終わった時、「やっけー、チョーうれいっちゃやけー」という林田さんの声が、動画に残っています。誠にありがとうございました。

(奴田原)

石像の制作計画を説明する林田さん(左)。右は石像のデザインを粘土で作った伊東珠貴さん



設置の最終作業

壘堤プロジェクト モニュメント付近を整備

壘堤の由来を紹介する石碑や実物大模型などが設置されていた北町の五ヶ瀬川右岸堤防が生まれ変わりました。

これは国交省が、老朽化した堤防の補強を主目的に平成二十六年から始めた「壘堤プロジェクト」の一環です。五ヶ瀬橋から下流二百メートル（初年）、五ヶ瀬橋一板田橋二百メートル（同三十年）に続き、今回、令和四年度の事業で、亀井橋下流から「本家ささき」上流まで百メートルが整備されました。

のり面は石垣風のデザイン。遊び心で、ハート形の石が五つ埋め込まれています。

天端は、以前は二メートル幅でしたが、緊急車両の通れる三メートル幅に確保されました。

堤防上に設置されていた「壘堤モニュメント」のうち実物大模型（写真右下）は、今回、本物の壘堤



に入れる人物の石像」が、横並びに設置されました（一番上の写真）。プロジェクトには当会も当初から参加しており、設置場所について意見を述べました。

ハート形の石は、実は、五ヶ瀬橋一板田橋間にも二個あると聞いて探し、見つけました！（石の写真の下に二枚）。特に一番下の石は、難易度マックスです。

皆さんも探してみてください。ただし、集中しすぎて、川に落ちないよう、ご注意ください！

残る「本家ささき」一板田橋百二十メートルも今月下旬に着工し、来年三月完成予定だそうです。

これで、壘堤のある五ヶ瀬川の右岸側の堤防補強工事は、すべて完成となります。（奴田原）

土木技術者の卵が壘堤を見学



今月十一日、宮崎県産業開発青年隊の専攻科隊員が、ICT施工（情報技術）である五ヶ瀬川掘削工事見学会の一環で壘堤を見学しました。



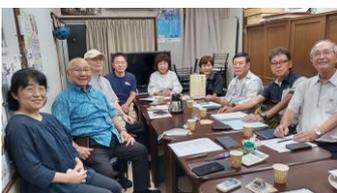
将来、公務員や建設業の社員として土木の道に進む彼らは、壘堤の精神である自助、共助を学ぶとともに、先人の知恵や努力について説明を受け、その偉大さに感銘を受けていました。（小野）



ハート形の石を示す甲斐英明・延岡河川国道事務所延岡出張所長（左）と長友明人・同事務所調査第一課専門官II役職はともに4年度

役員、事務局が 変わります

皆さま、よろしく
お願いします。



（9月26日、役員会で）